

施策評価調書(28年度実績)

施策コード II-5-(1)

政策体系	施策名	海外に開かれたネットワークづくりと輸出促進	所管部局名	企画振興部			長期総合計画頁	115
	政策名	海外戦略の推進	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、商工労働部、農林水産部				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	海外の活力を取り込む	海外の人材を取り込む	国際交流・国際貢献の推進	国際人材の育成・活用

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i	海外展開企業数(事業者)	①	H26	91	100	102	102.0%	118	150					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 アジアビジネス研究会での海外セミナーの実施やJETRO等関係機関の支援により海外展開企業が増加した結果、目標値を達成した。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・台湾(台北市)及び香港において、レストランやスーパー、卸業者、旅行業者等多くの関係者に対し、大分の食と観光を売り込むことにより、販路開拓や観光客誘致を図ることができた。また、アジアビジネス研究会(会員数167社)等の取り組みにより、企業の海外展開にかかるサポートを行うことができた。
②	・県内留学生80人に対し奨学金を交付するとともに、大分県講座を実施。併せて、中国での留学説明会を開催することで、留学先としての大分県の魅力情報を発信した。
③	・誘致活動の結果、3回の海外代表チーム等のキャンプが実現し、参加チームから本県の受入体制に好印象を得るとともに、国内外のトップレベルの選手と県民との交流を通じ、競技力の向上やスポーツ振興等を図ることができた。
④	・留学生ビジネスセンター(スパークル)の開設により、留学生の県内就職と起業に対してワンストップで対応できるようになった。また県内経済団体等と連携を図り、留学生と県内企業との相互理解を進めることができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	海外戦略推進事業	42,228	A	終了	20
②	外国人留学生支援事業	32,473	A	継続・見直し	21
	留学生誘致対策事業	11,449	A	終了	23
③	国際スポーツ大会誘致推進事業	29,688	A	継続・見直し	24
④	留学生就職・起業支援事業	31,471	A	継続・見直し	22

【VI. 施策に対する意見・提言】

○「海外戦略アドバイザー会議」(H28.9) ・熊本地震の後に、大分に残っていた韓国人がTVインタビューで「大丈夫だった」と答えていた。この発信力は非常に大きいので、こちらにいる外国人の生の声を発信する機会を増やすとよい。 ・食品や酒については、ニューヨークが一番発信力があるので、アメリカも重点目標の地域に入れるとよい。	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・H29年度は台中線定期便化の後押し等を目的に、台湾をターゲットにプロモーションを実施する。それ以降のプロモーションターゲット国については、成長著しいASEANや、ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた欧米諸国等の中から、海外戦略本部PT会議で議論のうえ決定していく。</p> <p>・留学生ビジネスセンター(スパークル)について、今後も各大学、県内経済団体等との連携をさらに進め、留学生の就職と起業を支援していく。</p>